

第 5 号様式（第 6 条関係）

北の台中学校 学校運営協議会会議録

会 議 の 名 称	第 2 回 北の台中学校 学校運営協議会		
開 催 日	令和 5 年 1 1 月 2 2 日（水）		
開 催 時 間	1 6 時 0 0 分 ～ 1 7 時 0 0 分		
開 催 場 所	北の台中学校 図書室		
議 長	教頭		
出 席 者	会長、コーディネーター、学校運営協議会委員（1 名） 校長、教頭、総括教諭（5 名）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	1
会 議 の 内 容			
【議題】 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 校長挨拶 4. 学校行事等を参観して 5. 議事 ○ 具体的な取り組みについて 6. その他 ○ 連絡事項 7. 閉会			
【主な意見・決定事項など】 4. 学校行事等を参観して ・ 体育祭 非常に暑い中であつたが、生徒がよく頑張っていた。 暑さのため、PTA 種目が当日中止となつたが、良い判断だつた。 中学校の体育祭は、小学校の運動会とはまた違った面白さがあつて良かった。 ・ リサイクル制服譲渡会(10/13) 利用人数は前回とさほど変わらない十数着譲渡できた。 高校見学のシーズンに譲渡することを目的に譲渡会を実施し、有益であつた。 ・ 合唱祭			

子どもたちの成長が感じられ、どの学年の合唱も良かった。

・地域の行事

コロナ前の状態に戻しつつある。反面、人手不足により再開できない部分も見えてきた。

6. 議事

第1回の協議で挙げた、「基礎学力の定着」「基礎体力の向上」「人との関わりを楽しむ力」についての具体的な取り組みについて

①基礎学力の定着

学習会：

- ・大学生や高校生など若い人の力も活用したい。
- ・場所→公民館や市役所で学習会を行っていることもある。
教室の貸し出しは難しさもある。
- ・保険→ボランティアの登録などで対応できないか。
- ・本校で実施している「学び舎」（週1回と長期休業中）を広げることではないか。
- ・教員の人材発掘、人手不足解消につながっていく可能性もあるのではないか。

②基礎体力の向上

- ・寺尾小学校の取組→放課後児童クラブが綾瀬高校のサッカー部と交流を行っている。
- ・中学生が小学校に運動を教えに行くのはどうか。
→教員が引率を行うと教員の負担が増えてしまう。
→「中学生が小学校のプラザに行って小学生と一緒に遊ぶ」としないことが重要。
- ・綾瀬市スポーツ推進委員、スポーツ課に登録している方。ボッチャやモルックを指導できる人が居る。→市内の人材の活用。
- ・まずは中学校で、パイロット的に、地域の方の力で、実際にボッチャなどを行ってみるのがよいのではないか。

③人との関わりを楽しむ力（地域交流）

- ・各自治体での防災訓練に参加してはどうか。
- ・9月の初めに行う防災訓練への参加は高齢者が多く、子どもの姿がない。生徒の参加者を増やせないか。
→実際に日中被災するようなことがあれば、生徒の力も必要になる。
→部活動との兼ね合い、大会との関係性も注意が必要。
- ・公民館祭りの会場の設営、展示品の飾りつけ、当日の司会進行を中学生ボランティアに依頼をしたい。募集をかけたいと思っている。
- ・中央公民館、南部ふれあい会館、寺尾自治会館が3月に公民館祭りをする。公民館側も生徒の地域参加の足掛かりとしたい。
- ・自治会長と中学生（生徒会本部役員）が地域を良くしていくために話す機会を作ってみるのも良いのではないか。
- ・体育祭の放送が素晴らしく、自治会の運動会等でも、中学生が放送を担当するコーナーを設けてみるのもよいのではないか。城山中の放送部が地域の活動に関わっている例もある。

全体を通して、実際に協力を仰げそうな方が居るかを探す。	
【配付資料】なし	
次回開催予定	第2回 11月22日（水）